

平成 26 年度 第 1 回大垣市スポーツ推進審議会 会議録

▽と き：平成 26 年 6 月 23 日（月）14：00～15：30

▽と ころ：大垣市役所北庁舎 北館 1 階 教育委員会室

▽議 題：第 2 次大垣市スポーツ振興計画の策定について

▽出席者（敬称略）

（委 員）

堤 俊彦、山田 幸隆、日下部 良邦、牧野 安孝 矢橋 陽子、小川 修司
大野 義近、井村 征夫、加藤 典克 【計：9 名】

（オブザーバー）

宇佐見 昭典 【計：1 名】

（事務局）

山本 譲（教育委員会教育長）
坂 喜美和（教育委員会事務局長）
加藤 幹雄（社会教育スポーツ課長）
宇津 慎一（社会教育スポーツ課参事）
中村 友昭（社会教育スポーツ課主幹）
加藤 洋（社会教育スポーツ課主幹）
中島 康路（社会教育スポーツ課主事）
加藤 誠（庶務課長）
林 昭義（庶務課主幹）
土川 剛史（庶務課主査） 【計 10 名】

▽欠席者：高橋 正紀、小原 良次、高橋 美和子 【計：3 名】

▽傍聴者：無

<次第 1 開会>

社会教育スポーツ課長は、開会を宣言した。

※会長へ議事進行を依頼するまでの間、事務局が議事進行を行う。

<次第 2 あいさつ>

会長挨拶（略）

教育長挨拶（略）

＜次第 3 委嘱状交付及び委員の紹介＞

委員の交代があったため、山田委員、小原委員に委嘱状の交付を行う。小原委員は欠席のため、後日委嘱状の交付を行う。任期については、「大垣市スポーツ推進審議会設置条例」第 4 条に基づき、前任者の残任期間とする。

委員の紹介については、時間の関係上、資料 No. 1 の名簿にて紹介にかえる。

＜次第 4 議題＞

※議事進行については、「大垣市スポーツ推進審議会設置条例」第 5 条第 3 項により、会長が会議の議長となるとなっているため、以降の議事進行は会長が執り行う。

(堤 議長)

- ・ 定足数の確認
- ・ 審議会公開の報告
- ・ 事務局に対し、「第 2 次大垣市スポーツ振興計画の策定について」説明を依頼。

(事務局)

【資料説明】

- ・ 資料No.2 ー 第 2 次大垣市スポーツ推進計画の策定について
- ・ 別添資料No.1 ー 平成 22～25 年度「大垣市スポーツ振興計画」目標指標における進捗状況について
- ・ 別添資料No.2 ー 大垣市の教育に関する市民アンケート調査報告書について
- ・ 別添資料No.3 ー 体育・スポーツに関する市民アンケート調査報告書について

(堤 議長)

事務局からの説明について、ご意見、ご質問があれば、お願いします。

(井村 委員)

別添資料No.2 の「日頃から意識的に体を動かす運動（ウォーキング・体操など）やスポーツをしていますか？」という質問について、意識的の解釈がわかりにくい。県では、「週 1 回以上」という定義があったと思うが、本市のアンケートでも「週 1 回以上」と明記した方がよいのではないかな。

(事務局)

「週 1 回以上」と明記していくこととします。

(山田 委員)

アンケート結果の数値（満足度）が平成 24 年度に比べて、平成 25 年度は急激に上昇しているが理由はあるのか。

(事務局)

質問に対する回答に「分からない」という選択肢を追加しました。これは、質問に対して意味が分からないのかあるいは本当に満足しているか分からないなどの理由を把握するためです。満足度を計算する際に全体から「分からない」を除いているため、数値（満足度）が上昇しています。

(加藤 委員)

「分からない」と回答する理由が知りたい。備考欄などに記入できるようにして頂きたい。

(小川 委員)

アンケート結果を見ると「分からない」の回答が非常に多い。「未回答」や「分からない」が多い質問は調査をする上で意味がない。アンケートの質問内容の見直しが必要ではないか。

また、アンケート結果は、男女別、年代別に考察することで対策が立てやすい。

(大野 委員)

アンケート対象者数は 500 人でよいのか。

(事務局)

アンケート対象者数は、500 人で妥当であると考えています。

別添資料No.3 のアンケートについては、やや不満、不満、分からないの理由を記入できるようにしてあります。

アンケートの質問内容、対象者については、変更を検討していきます。

(小川 委員)

現行の「大垣市スポーツ振興計画」は、県の「ぎふスポーツ振興計画」と足並みは揃っているのか。

(事務局)

平成 22 年度に「大垣市スポーツ振興計画」を策定した際に「ぎふスポーツ振興計画」を参考としており足並みを揃えています。第 2 次計画については、本市も県も今年度が策定年度となるため、できる限り県の策定状況を把握しながら足並みを揃えられるようにしていきます。

(山田 委員)

第 2 次計画の策定の際は、各種団体の役割を明確にしてほしい。例えば「この事業は、この団体が中心となって推進していく」など。

(牧野 委員)

別添資料No.1 の「小・中・高校生の指導者に対する合同指導講習会の実施」について、これまでに 1 回も実施できていないとなっているが、少年団や各種団体において、実施をしている。

(矢橋 委員)

少年団では、毎年「育成母集団研修会」や「指導者研修会」を実施している。

(事務局)

「合同」での開催ができていないため、実施回数が 0 回となっています。特に高校の指導者に参集を図ることが非常に難しい状況です。また、今後本市では、土曜授業の実施を計画しているため、合同での開催はより困難になると考えられます。

第 2 次計画では、そういった現状を考慮した目標指標を設定していきます。

次回の審議会までに「第 2 次大垣市スポーツ推進計画」の素案を作成し提示します。

<次第 5 その他>

(事務局)

【次回以降の審議会開催日程の確認】

＜次第 6 閉会＞

堤議長は審議会の全日程が終了した旨を告げ、議長の職を解き、委員の方々に謝意を述べる。

社会教育スポーツ課長は、平成 26 年度 第 1 回大垣市スポーツ推進審議会を閉じた。

前記のとおり、相違のないことを証するため署名捺印する。

平成 26 年 6 月 25 日

議 長 堤 俊彦 ㊟

本会議録の作成に係る職務を行った者

社会教育スポーツ課長 加藤 幹雄 ㊟

捺印いただきました原本については、大垣市スポーツ推進審議会事務局（社会教育スポーツ課）で保管しております。